

達成度：H24.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

人権推進課の目標（平成23年度）自己評価書

人権推進課長 河合 昭男

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 人権啓発の推進（人権啓発班）</p> <p>様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動（広報掲載・啓発冊子・人権ポスターの作成等）を行います。</p> <p>また、人権週間（12月4日から10日まで）に併せて巡回啓発・街頭啓発・小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を行います。</p> <p>今年度は、酒々井小学校にて、花の栽培を通じて命の大切さや、思いやりの心を身に付けてもらうことを目的に、人権の花（しゃくやく）の植樹を行ないます。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ニューしすいで啓発するとともに、住民意識調査を基に作成した概要版（パンフレット）や国・県から配布された啓発冊子を活用し広く人権啓発しました。 ・酒々井小学校及び大室台小学校に人権ポスターの作成を依頼し、小学校6年生が作成した人権ポスター165点を中央公民館で展示し啓発を行いました。 ・人権ポスターの中から優秀作品2点を啓発ポスターとして作成し、町内公共施設等に掲示し啓発を行いました。 ・人権週間（12月4日から12月10日）に併せ役場庁舎に懸垂幕、国道51号線上の朝日橋に横断幕を設置するとともに、人権擁護委員と広報車で巡回啓発を実施し、街頭で啓発物資を配付するなど人権意識の高揚を図りました。 ・平成23年11月17日に酒々井小学校にて人権の花「しゃくやく」の植樹式を行いました。現在では花を咲かせるために児童達は協力し合って育てています。
<p>2 人権相談業務の実施（人権啓発班）</p> <p>人権擁護委員による定期的な人権相談（毎月第2火曜日）を実施し、様々な人権問題の相談に応じています。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による人権相談を毎月第2火曜日に実施し、様々な人権問題の対応を図りました。

<p>3 同和対策事業の推進（人権啓発班） 同和問題の解決に向け生活・就労等の各種相談事業、啓発事業等を実施します。</p> <p>4 DV対策の推進（人権啓発班） DV対策については関係機関（警察・印旛健康福祉センター・女性サポートセンター等）と連携し、被害者を保護する態勢を整えます。 また、相談者に対し適切な支援を行います。</p> <p>5 隣保館の運営（人権啓発班） 福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる地域に密着したコミュニティセンターとして様々な事業を展開し、人権・同和問題の解決を図ります。</p> <p>地域交流事業 高齢者健康体操教室、フラワーアレンジメント教室、親子ふれあい教室</p> <p>地域交流促進事業 料理教室</p> <p>啓発事業 ふれあい講座</p> <p>隣保館デイサー いきがいデイサービス（健康福祉課と連携した介護予防事業）</p> <p>ビス事業</p>	<p>4 ・人権啓発センターに業務委託し、人権問題、生活問題、就労問題等の解消に努めました。</p> <p>5 ・DV被害者（25件）の相談に親身に応じました。 ・緊急時には庁内関係課と連携し、被害母子の一時保護に迅速に対応できました。 ・佐倉警察署、印旛健康福祉センター、女性サポートセンター等の関係機関と連携態勢をとり対応しました。 ・DV被害者が裁判所に申し立てる保護命令手続き等に対し、適切な支援を行いました。 ・被害者の緊急一時保護に要する経費を備え、緊急時の保護態勢をとりました。</p> <p>5 <地域交流事業> ・各種教室を開催し、参加者相互の交流を図りました。 高齢者健康体操教室：軽やかな音楽に合わせて体操を行い、運動機能の向上を図りました。 フラワーアレンジメント教室：季節の花をアレンジして、生活の中に潤いと作る喜びや感動を与えました。 親子ふれあい教室：親子で工作やゲームを行い親子のスキンシップと参加者親子の交流を図りました。 料理教室：休日開館し、季節の食材を取り入れて料理の応用を学ぶとともに地域交流を促進しました。</p> <p><啓発事業> ふれあい講座：人権週間に合わせ社会教育課と合同で開催し、人権意識の高揚を図りました。</p>
---	--

<p>6 チャレンジ目標</p> <p>住民意識調査を基に作成した概要版を活用し、人権セミナー、ふれあい講座などで広く住民に啓発します。</p> <p>隣保館事業の拡充を図るため、利用者に対しアンケート調査を実施し、次年度の事業内容の見直しを行ないます。</p>	<p>4</p>	<p><特別事業></p> <p>いきがいデイサービス事業：健康福祉課と連携し隣保館を利用し、創作・軽作業、日常生活訓練等を行うことにより高齢者等の自立の助長を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要版（パンフレット）を町内各施設に設置し、広く人権啓発しました。 ・隣保館 事業参加者を対象にアンケート調査を実施したところ、多くの方が満足していることがうかがえました。 <p>【参加してよかったところ】</p> <p>○健康体操教室 友達が増えた、毎回参加することが楽しみ、足・腰を丈夫にできる等。</p> <p>○フラワーアレンジ教室 心が癒される、いつも花のある生活をしている、低価格で受講できる等。</p> <p>○親子ふれあい教室 隣保館に来ると色々な世代の方と触れ合える、家ではできない遊びの体験ができた、親子で楽しめた等。</p> <p>【改善点・意見・感想】</p> <p>教室の回数を増やしてほしい、ずっと続けてほしい、体操の種類を増やしてほしい、幼稚園に入っても長い休みの時には参加したい等。</p>
--	----------	---